

背景

- ニーズが終了していない?

課題

①

- ボランティア側に行き先の希望を出し良いのか?
- ニーズの優先順位をどうしていくか?

解決策

- 電話確認ではなく、職員が現場へ出向きニーズを聞いてくる。(ニーズがあるかないか?)

解決策

- インターネット等でボランティアを募集
- 被災者の気持ちを理解出来るシステム作り

グループ1
検討事例③

①背景

- ① 近頃のIT技術の発展に伴って、デジタル化が進んでいる。
 - ② 近頃のIT技術の発展に伴って、デジタル化が進んでいる。
 - ③ 近頃のIT技術の発展に伴って、デジタル化が進んでいる。
- 近頃のIT技術の発展に伴って、デジタル化が進んでいる。
- 近頃のIT技術の発展に伴って、デジタル化が進んでいる。
- 近頃のIT技術の発展に伴って、デジタル化が進んでいる。

②課題

- ① IT技術の発展に伴って、デジタル化が進んでいる。
 - ② IT技術の発展に伴って、デジタル化が進んでいる。
 - ③ IT技術の発展に伴って、デジタル化が進んでいる。
- 近頃のIT技術の発展に伴って、デジタル化が進んでいる。
- 近頃のIT技術の発展に伴って、デジタル化が進んでいる。
- 近頃のIT技術の発展に伴って、デジタル化が進んでいる。

デジタル化の課題

③解決策 (この場)

- ① IT技術の発展に伴って、デジタル化が進んでいる。
 - ② IT技術の発展に伴って、デジタル化が進んでいる。
 - ③ IT技術の発展に伴って、デジタル化が進んでいる。
- 近頃のIT技術の発展に伴って、デジタル化が進んでいる。
- 近頃のIT技術の発展に伴って、デジタル化が進んでいる。
- 近頃のIT技術の発展に伴って、デジタル化が進んでいる。

④解決策 (平常時)

- ① IT技術の発展に伴って、デジタル化が進んでいる。
 - ② IT技術の発展に伴って、デジタル化が進んでいる。
- 近頃のIT技術の発展に伴って、デジタル化が進んでいる。
- 近頃のIT技術の発展に伴って、デジタル化が進んでいる。

グループZ 検討事例③

① 背景

大企業の中で
人材育成が
あるが現状は
悪い

人材育成
の重要性
は減る

人材育成の
重要性は減る
理由は何か

人材育成の
重要性は減る
理由は何か

人材育成の
重要性は減る
理由は何か

人材育成の
重要性は減る
理由は何か

人材育成の
重要性は減る
理由は何か

人材育成の
重要性は減る
理由は何か

② 課題

③

人材育成の
重要性は減る
理由は何か

人材育成の
重要性は減る
理由は何か

③ 解決策(その場でできること)

人材育成の
重要性は減る
理由は何か

人材育成の
重要性は減る
理由は何か

人材育成の
重要性は減る
理由は何か

人材育成の
重要性は減る
理由は何か

人材育成の
重要性は減る
理由は何か

④ 解決策(平常時からできること)

人材育成の
重要性は減る
理由は何か

人材育成の
重要性は減る
理由は何か

人材育成の
重要性は減る
理由は何か

人材育成の
重要性は減る
理由は何か

グループ3 検討事例③

①

背景

ポイントが不足気味

ニーズ150件

↓
6日目で
非1度も行っていない所がある

ポイントの視点で運営されている
↑↓

②

課題

運営 = スケジュール

依頼者の本意の思いを
理解できていない?
↓

③

その場でできること

↓
ニーズの再確認:
ニーズのある事を説明し協力
してもらう。

優先順位をつける。

④

日頃できること

- ・コミュニケーション
- ・コーディネート力
- ↓ 受援者の体制づくり (今日の研修活用)

① 背景

ボランティア不足

作業の進捗状況が確認できていなかった

被災者ボランティアは連日被災地をめぐり、作業の進捗を確認し、ボランティア不足の中

② 課題

① 他に必要な場所があるかも

ボランティアの適切な派遣方法

取戻された被災者状況を確認し把握して、その状況に合わせた対応

③ 解決方法 (その場)

被災者の方に作業の状況を把握する

被災者の全体を説明してボランティアの不足を明らかにする

オリエンテーションの中で説明 (勝手にボランティアが返事しない)

④ 解決方法 (平常時)

訓練の中で周知しておく (地域での防災訓練)

①

依頼の ~~内容~~ 内容
セコ-ル 理解
必要ではない...

ボランティアの
希望に沿って
できないのか?

②

「報告」に
写真は
Tina!

現場で職員に
依頼する

ボランティアの
事前の打ち合わせ
が必要
↓
ボランティアの
活動の目的
を伝える

ボランティアの
活動の目的を
伝えるのか?

ボランティアは
1200に 300も
来ているのか?

⑥

事例③

③

現場へ
出向く

ボランティアの
人数について
現場の把握
ボランティアの
人数を把握する

ボランティアの
活動の目的
を伝える必要

ニーズの優先順位

④

ボランティア
学習会

グループ6
検討事例③

①

残り日数
下の子の必要数
の把握
把握



活動紹介票
が活用されて
おちろくの子
の派遣がた
びよって来た

ニーズとITの
数のミスマッチが
発生する

②

ニーズとITの
数のミスマッチ
発生する

ニーズとITの
数のミスマッチ
発生する

優先順位
と厳しい状況
によりセクターが
決定が必要

③

支援を待て
ない人のことを
最優先に考え
派遣を確約

ボランティアは
ボランティアの
自己満足で
あつてはいけない
被災者のため

ITの優先度の
高ニーズの
ニーズを優先
する

ニーズがあつても
人手不足で当日
行けずの場合
連絡をし、次日
優先的に行く

状況は横断の
視座から被災の
状況と充分に
理解し、一対一
対応

④

ニーズとITの
数のミスマッチ
発生する

災害対応の
緊急度
を把握

被災者とIT
の親密性は
良いとある
緊急度優先

グループワーク 検討事例③

① 背景

[Blank sticky note]

① 経路の不明な
各期別の採算
の不足

② 課題

経路不明な採算
の不足

採算不足
の不足

経路不明
の不足

採算不足
の不足

③ 解決策 (その場)

採算不足
の不足

経路不明な採算
の不足

採算不足
の不足

採算不足
の不足

経路不明な採算
の不足

④ 解決策 (平時)

採算不足
の不足

採算不足
の不足

採算不足
の不足

採算不足
の不足

- ① ・ ニーズと地域力とのバランスを見極められていい。
- ・ ボランティア数とニーズ件数のバランスがとれていい。
- ・ 継続が必要な活動には、同じボランティアさんに入ってもらえる。

- ② ・ ニーズの把握は現場を見ることで確認が必要がある。
- ・ ニーズにあわせてボランティアの配置を考えていく必要がある。

- ③ ・ 活動の時間を半日(午前中のみ)にする。
- ・ 他の活動要請があるときボランティア、被災者(依頼者)にも理解してもらう。

④ ボランティアがたくさん集まってくるような呼びかけの工夫

①

G10

②

① 課題
 ・ 学校の課題
 ・ 家庭での課題
 ・ 地域の課題
 ・ 個人の課題

② 学習
 ・ 学校の学習
 ・ 家庭での学習
 ・ 地域の学習
 ・ 個人の学習

③

オリエン
 テーション
 する

「新入生」
 にはまだ
 の不安

入学
 3週間
 以内

④

水害に負
 けない
 地域づくり

グループ10
 検討事例③

1 ハイケイ

150案件
ニーズ不明
ポテンシャル
不明気味

VCの
自由支援
が難しい
(自由支援は...)

V. 自由支援
が難しい

①
②

2 カダイト

911

ポテンシャル
が低い
ニーズ不明

ポテンシャル
が低い
ニーズ不明

ニーズ不明
ポテンシャル
が低い

ニーズが
おぼろげ
可能性がある

3 カイケツ

ポテンシャル
全部が
自己責任
で

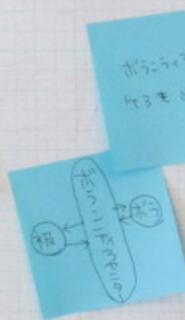
終了して
言わなければならない
現場 = 本業
現場 = 本業

VCの本業
目的は
現場 = 本業

4

①
②
③

現場見聞力
(全体見聞力)
VCに求められ
ない



ポテンシャル
が低い

ポテンシャル
が低い

VCの
本業は
現場見聞
力

ポテン
シャルも
ない

VCの
本業は
現場見聞
力

グループ11 検討事例③

自主的に...
15...
...
...
...

① ボランティアの押し売り、
現在場を見ていない

③ 優先順位をつける。
ニーズが変化しているかも
しれないため確認する

② 予定にない活動~~あり~~^{あり}
平等に対応すべきである

④ ボウセンの運営について
職員が把握する。

- ① ① 他の被災者へボランティアが行けな(優先順位)
向題
- ・ 親族、近隣の協力があつた。
- ・ ボランティアの思いで活動している。
- ・ 「終了」の確認状況があいまい。

- ② ② コースに対する優先順位がい
決められていない。
- ・ 活動報告の明確化が~~必要~~。
- ・ 再コースの明確化。
- ・ 自助努力が促進されていない。

- ③ ③ コース毎優先順位をつける。
- ・ 残りの活動状況を詳しく聞く。
- ・ 「ボランティアとは」をオリエンテーション時に
確認(説明を理解する)

- ④ ④ 助け合い、支え合いの精神を日頃より、
築く
- ・ ボランティア~~は~~は日頃より出来る人と
養育していく。
- ・ 募集(災害規模に対して、ボランティアをどう呼びかけるか)
- ・ 被災者の“本当の想”いのかくにん。

① 背景

この問題の背景は、
都市部の交通渋滞
を緩和するための
施策の一つとして
導入された。

この問題の背景は、
都市部の交通渋滞
を緩和するための
施策の一つとして
導入された。

この問題の背景は、
都市部の交通渋滞
を緩和するための
施策の一つとして
導入された。

② 課題

この問題の課題は、
都市部の交通渋滞
を緩和するための
施策の一つとして
導入された。

この問題の課題は、
都市部の交通渋滞
を緩和するための
施策の一つとして
導入された。

③ 解決策

この問題の解決策は、
都市部の交通渋滞
を緩和するための
施策の一つとして
導入された。

この問題の解決策は、
都市部の交通渋滞
を緩和するための
施策の一つとして
導入された。

この問題の解決策は、
都市部の交通渋滞
を緩和するための
施策の一つとして
導入された。

この問題の解決策は、
都市部の交通渋滞
を緩和するための
施策の一つとして
導入された。

この問題の解決策は、
都市部の交通渋滞
を緩和するための
施策の一つとして
導入された。

この問題の解決策は、
都市部の交通渋滞
を緩和するための
施策の一つとして
導入された。

④ 解決策

この問題の解決策は、
都市部の交通渋滞
を緩和するための
施策の一つとして
導入された。

この問題の解決策は、
都市部の交通渋滞
を緩和するための
施策の一つとして
導入された。

①

②

人の想ひ方

③

④

事例 3 ②課題

16

①背景

① 課題
システム
(2019)

・毎週金曜日+20日
で20日(20日)
20日(20日)

② 課題
システム
(2019)

③ 背景
・システム
・システム
・システム
・システム

④ 背景
・システム
・システム

⑤ 背景
システム

⑥ 課題
システム
システム
システム

⑦ 課題
システム
システム

⑧ 課題
システム
システム

③解決策

① 解決策
システム
システム
システム
システム

② 解決策
システム
システム
システム

③ 解決策
システム
システム
システム

④ 解決策
システム
システム

⑤ 解決策
システム
システム

⑥ 解決策
システム
システム

④解決策

① 解決策
システム
システム
システム

② 解決策
システム
システム

グループ16
検討事例③

